

# 会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書  
令和元年8月20日 提出

## 1. 視察概要

会派名	公明党
視察者名	山田和明・横山悦子
日時	令和元年7月9日 午後2時から午後3時30分
視察先	帯広市役所
出席者	市民協働部市民活動推進課 課長補佐 田中 彰

## 2. 視察内容

視察項目 視察内容	<p>「市民協働のまちづくり」について</p> <p>協定締結に向けた視点として、締結を機に企業等の既存の取り組みにない新たな事業での連携が出来ることなど、庁内協議を行い、締結の可否を判断。 帯広市と民間企業とが包括連携協定を締結することで、市民へどのような働きかけし、理解を得ているのか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>北海道コカ・コーラボトリング(株)、・具体的な事業として、冬期防災訓練における飲料水の無料提供・各種イベントの協賛(飲料製品、及び協賛金の提供)</li> <li>セブン&amp;アイグループ HLDGS、〈連携・協力事項=協働事業〉・災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定書、帯広市高齢者見守り活動に関する協定書の個別協定を締結。・〈具体的な事業〉として、期日前投票所を設置し、投票率の向上に寄与している。</li> <li>(株)イオン、・イオン、マックスバリュと寄附に関する覚書締結(寄付金は子育て支援や教育環境及び動物園の充実に活用)〈具体的な事業〉として、ご当地 WAON カード支払金額の0.1%を寄附。</li> <li>帯広市内郵便局では、〈具体的な事業〉として、・バス待合所の提供・道路損傷等の情報提供など。</li> </ol> <p>今後の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>連携イメージの共有が重要</li> <li>はじめは個別の取り組みからスタート</li> <li>活用次第では無限の可能性</li> </ol> <p>企業のイメージが大切 なぜ、あの企業と結ぶのか、説明責任が求められる</p> <p>Q、市民への周知は A、機会あるごとに、市民に説明している。 市民にいかに還元できるか</p> <p>Q、イオンのカードの利用還元のビッグデータの提供 A、ご当地ワオンの利用内容のデータ化が難しい、市内減退販売は難しくなっている</p> <p>Q、食や観光の具体内容は A、イベントの協賛が主である、大きなイベントで4か所</p> <p>Q、今後の拡大について A、拡大がメインではなく、どこに視点を置いて取り組むのが重要 行政から協定を結ぶことは、限りなく少ない。相手側からアクションがあつて、初めて成り立つ。 まとめ 企業の何が出来るかを、伸ばして市民と協働を進める</p>
他会派との 合同実施	・無 ・○有 (会派名: 新生会)

# 会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書  
令和元年8月20日 提出

## 1. 視察概要

会派名	公明党
視察者名	山田和明・横山悦子
日時	令和元年7月10日午前9時から10時30分まで
視察先	釧路市役所
出席者	環境保全課 課長補佐 本岡 尚子 議会事務局 渡邊 尚史

## 2. 視察内容

視察項目	「ラムサール条約の活用」について
視察内容	<p>1、施策に反映された事案等について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(ア) 釧路国際ウェットランドセンターの設立と国際湿地協力活動</li><li>(イ) 姉妹湿地提携</li><li>(ウ) 阿寒湖ラムサール条約登録と観光施策</li><li>(エ) 釧路湿原の再生を目指す「釧路湿原自然再生事業」資料に基づいて説明</li></ul> <p>質疑応答</p> <p>Q、どのように自然保護に取り組んでいるのか</p> <p>A、釧路市総合計画に「ラムサール湿地保全協力活動の推進」と位置付けて自然と都市が調和した、住みよい魅力あるまちづくりを進めている</p> <p>Q、具体的な施策はどのようなものがあるか</p> <p>A、釧路市マスタープランにおいて都市的土地利用の範囲を定めている。 釧路市は独特の地形から、「水際線より6キロ程度」と致死開発の範囲を定め、釧路湿原の保全に努めている</p> <p>Q、これからのラムサール条約を生かした取り組みは</p> <p>A、第2期釧路市観光振興ビジョンを作成し2つの国立公園と2つのラムサール条約登録湿地を生かした観光施策を展開中</p> <p>感想</p> <p>国立公園とラムサール湿地条約を生かして、観光客の誘致に努めているが、特筆すべきは、市民一人一人が、積極的にかかわりあって、自然を守る意識がたかいことである。一度壊した自然は、決して戻らないことを十分に自覚し、自然の保護に向き合っている意識の高さを知ることができた</p>
他会派との合同実施	・無 ・○有（会派名： 新生会 ）

# 会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書  
令和元年8月20日 提出

## 1. 視察概要

会派名	公明党
視察者名	山田和明・横山悦子
視察日	令和元年7月11日午前9時から午前10時30分
視察先	苫小牧市役所
出席者	健康こども部健康支援課兼総合政策部国際リゾート戦略室主幹課長 吉田洋輔 健康支援課課長補佐 鳥羽亜矢子 議会事務局長 園田 透

## 2. 視察内容

視察項目	「みんなで健幸大作戦！」について
視察内容	Q、禁煙のデータは？ A、健康増進計画作成時に作成。30代、40代が多い。 働き盛りのストレスが原因 Q、たばこ税の推移は A、健康か、嗜好かによるが結果として禁煙者が増えている Q、脳ドックの対応は A、健康推進課で対応、国民健康保険 30,000 円で受けられる(100,000 円位) ペット CT は 2 病院 100 名で募集、特別会計(国民健康保険、後期高齢者)結果として 市民税負担が少なくなる Q、現検診の受験率 A、10%くらい、発見率は1~3%くらい。受診率の計算方法が変わる 30%くらい ただ得検診の制度を利用してほしい Q、女性特有のがん対応は A、子宮検診・乳がんは受信できる医療機関が異なるので、ただ得には含めない、 自分は大丈夫からの意識改革が必要。 Q、ペット CT のがん発見率は A、年1~2件くらい、国民健康保険対象者には負担率が高いと思われる Q、内視鏡の取り組みはいつから A、H29年6月~ Q、内視鏡は2年に1回。バリウムは毎年 A、前立腺がんの対応は Q、前立腺がんには、進行が遅い、対応に個人差があるので対応はしていない
他会派との 合同実施	・無 ・○有 (会派名: 新生会)